

事業名 CD	0104010302	環境教育事業
細分化した事業名		環境教育事業
事業担当課室 CD	200100	市民課
		整理コート*

〈事務事業の位置づけ〉

第5次長期総合計画での目的体系	大項目	自然を活かし、自然にやさしいまちづくりの推進	
	中項目	資源循環型社会の構築	
	小項目	0	
関連する個別計画等	環境基本計画	根拠条例等	韮崎市環境基本条例
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	環境問題について正しい知識と理解を深めてもらうとともに、子供を対象に各家庭から排出される温室効果ガスについて調査体験することにより、地球温暖化について学ぶことを目的とする。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	一般市民 市内小学生
これまでの改善経過	
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 □補助金 □その他(□ ) 市民講座の開催(広報等により一般市民の参加を募り講師による講座を年3回程度開催する。 キッズISOの実施(市内小学5年生を対象に夏休みを利用して実施)
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	・受講を受けた市民一人ひとりが環境に対し意識することにより、ごみの減量化及びリサイクルの推進が図れると共に各種団体リーダーの方々については、環境問題の指導者として期待する。 ・児童一人ひとりが地球環境について自覚し、家庭生活においてごみの削減及び電気、ガス、水道水等の節約に努めることにより、温室効果ガスの削減が図れる。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	597	30	930
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	298	15	464
	市債			
	その他			
	一般財源	299	15	466
B	担当職員数(非常勤   職員 E) (人)	0.53	0.53	0.53
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	3,658	3,662	3,616
D	総事業費(A+C) (千円)	4,255	3,692	4,546
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	142 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。  
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。  
 注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	環境講座開催回数 キッズISO実施校数(小学生対象)	年間(回) (校)	4	2	3
			5		5
成果指標	環境講座参加数 キッズISO対象児童数	延参加数(人) (人)	250	129	159
			361		577
効率指標	環境講座参加率 キッズISO実施率	参加者159人/定員160人 対象児童数577人/実施児童数509人	113.64%	107.50%	99.30%
			88.92%		88.20%

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 環境教育として一般市民向け環境講座の開催及び児童に対してのキッズISOは児童自身で調査する体験方式のため環境学習に非常に有効であるので妥当である。	
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 市民講座については参加者も多く、環境への意識付けとなり実行へと繋がっている。またキッズISOは、子供のころからの環境対策への動議付けとして成果があがっている。	
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 講師については身近な問題を提起し、地元で携わる講師を依頼しているため、安価な謝礼で依頼出来ている。またキッズISOについては教材から評価までを専門業者に安価で委託しているため効率である。	
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成	
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり	
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	(1) 中長期的 受講者が地域のリーダーとなり、市民一人ひとりが出来ることから、環境問題に取り組む。	(2) 23年度 講演内容の充実
		(3) 22年度 講演内容の充実
	21年度の改善計画	
	21年度の改善結果	
	市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 地域のリーダーとしての啓蒙普及	
課長所見	講演内容についてマンネリ化することなくタイムリーな内容となるよう工夫し継続実施	